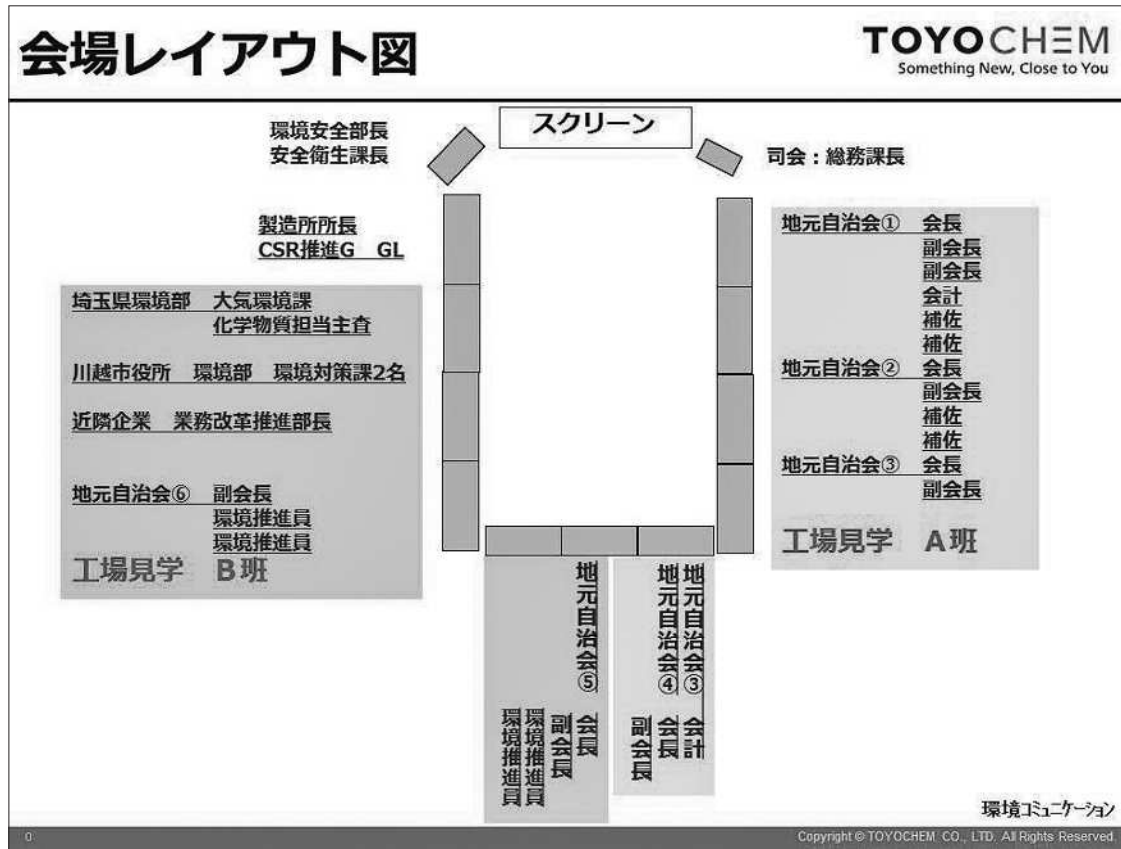


実施概要

事業所名 トーヨーケム株式会社 川越製造所

主たる業種	化学工業	
所在地	埼玉県川越市大字中福字松峯286	
立地環境	単独立地（住居の隣接あり）	
設立年	昭和34年（設立当時は東洋インキ製造株式会社）	
名称	2017年度川越製造所環境コミュニケーション	
実施日時	平成30年3月2日（金）13：30～16：30	
開催場所	トーヨーケム株式会社 川越製造所 事務棟会議室	
担当部署	管理部、環境安全部	
参加者数	地域住民（地域自治会） 22人 行政職員（埼玉県、川越市） 3人 近隣事業所職員 1人 当事業所職員 7人 合計 33人	
スケジュール	13：30～13：40 13：40～13：55 13：55～14：10 14：10～14：30 14：30～14：40 14：40～15：30 15：30～15：50 15：50～16：30	開会、参加者紹介、製造所長挨拶 川越市における環境対応 川越製造所の紹介 川越製造所の環境への取組 休憩 工場見学（休憩込み） 意見交換・質疑応答・アンケート記入 工場側挨拶、参加者側感想（自治会、行政）
配付資料	CSR報告書、本日のスケジュール	
質疑 意見 要望	} 内容	・環境影響評価を行い、周辺環境に十分配慮していることが分かった。 ・最近大規模な自然災害が各地で発生しているが、設備の耐震化などの災害対策について聞きたい。 （回答） ・順次更新、改良を実施しています。また、防災訓練を年2回実施し、災害発生時に対応できるように努めています。

会場レイアウト



工場見学ルート

工場見学ルート

TOYO CHEM
Something New, Close to You

	班分け	工場見学順番
A班	地元自治会① 6名 地元自治会② 4名 地元自治会③ 3名	1. クリーンセンター 2. あまみごえハウス 3. 安全道場
B班	地元自治会④ 2名 地元自治会⑤ 4名 地元自治会⑥ 3名 近隣企業 1名 埼玉県環境部 1名 川越市環境部 2名	1. 安全道場 2. クリーンセンター 3. あまみごえハウス

- ・ クリーンセンター: 環境設備エリア
 - ・ 廃棄物回収ステーション
 - ・ エネルギー管理施設
- ・ あまみごえハウス: マンゴー栽培実証実験エリア
- ・ 安全道場: 従業員安全教育施設

環境コミュニケーション

Copyright © TOYO CHEM. CO., LTD. All Rights Reserved.

実施風景



説明資料

TOYOINKSC

川越製造所 環境コミュニケーション

気候変動緩和、環境保護の取り組み

東洋インキSCホールディングス株式会社
総務部 CSR推進グループ

CSR
企業の社会的責任

CSR≠社会貢献

CSR≠コンプライアンス（法令遵守）



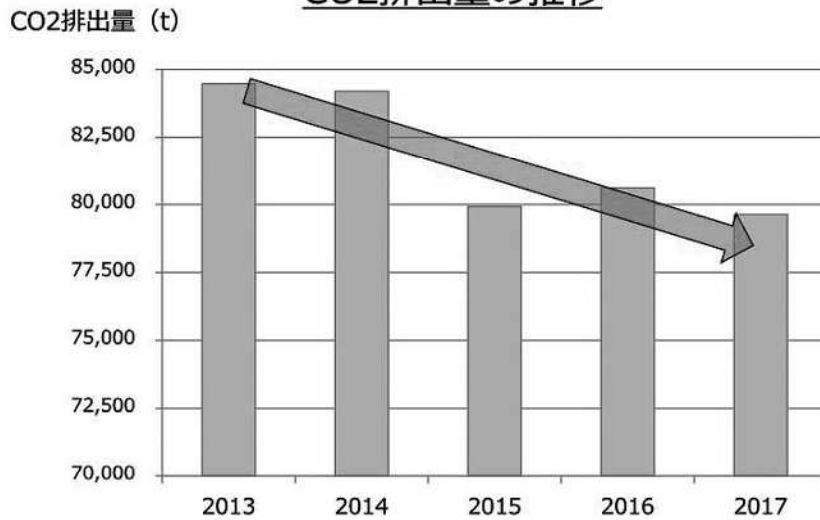
CSR = 企業の社会への影響に対する責任

- 環境、社会、経済へのマイナス影響を最小化し、良い影響を最大化する。
- あらゆる利害関係者と密接に協働しながら、環境・社会・倫理・人権に関する問題や消費者の懸念を自らの事業活動や事業の中核的な戦略に統合する。

CSRの重要課題

重要課題	達成像	バウンダリー
1 お客様の期待を超える価値を提供し、社会をひっぱる	お客様の期待を超える独創的な製品・サービスを通じて、社会のイノベーションや課題解決に資する価値を提供している。これを通じて広くステークホルダーから信頼を得ると同時に、持続可能な社会づくりに貢献している。	お客様、社会
2 革新的技術を通じて環境と共生する	革新的な環境技術により、製品・サービスの両面で社会のリーディングカンパニーになっている。また、川上から川下に及ぶ事業全体での取り組みを通じて、社会と環境との調和や社会の持続可能性向上に大きく貢献している。	環境
3 サプライチェーンと共存共栄し、互いを切磋琢磨する	気候変動緩和、環境保護も尊重し、互いを刺激しあ CSRの取り組みのひとつを確固たる信頼関係が築き、互いを刺激しあうことをベースとして、互いに協調しながらさらなる挑戦を続けている。	サプライチェーン
4 社員を大切にし、幸せや働きがい追求する	それぞれの社員の人格や多様性が尊重され、社員が自ら働きがいや自己実現を追求する風土が確立している。また、風通しがよく家族的な職場環境が、国内外でイノベーションを創出するベースとなっている。	社員
5 信頼を支える堅実な企業基盤を築く	コンプライアンスやコミュニケーション等の実践を通じて、ステークホルダーの信頼を支える堅実な企業基盤が確立している。また、この基盤が、歴史を継承しながら200周年まで会社が存続するための確かな礎となっている。	（間接的にあらゆるステークホルダー）

CO2排出量の推移



国内の中核事業会社（4製造所+4工場）のCO2排出量はここ数年減少傾向にあります。

太陽光発電設備の導入

電力会社への
売電



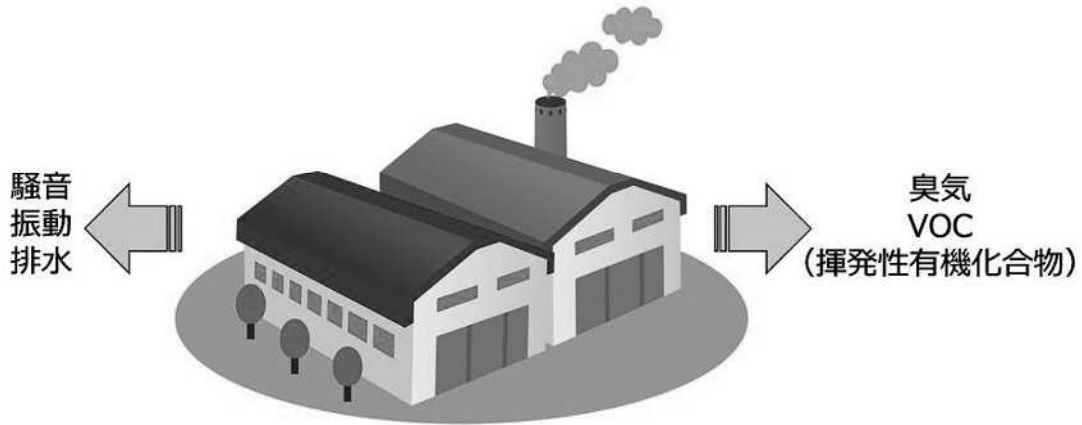
自社の電力と
して使用



国内の太陽光発電設備の総発電量は年間約340万kWh（一般家庭約950軒分に相当）で、CO₂を2,040t削減できる見通しです。

環境保護の取り組み

TOYOINK<SC
Visible Science for Life



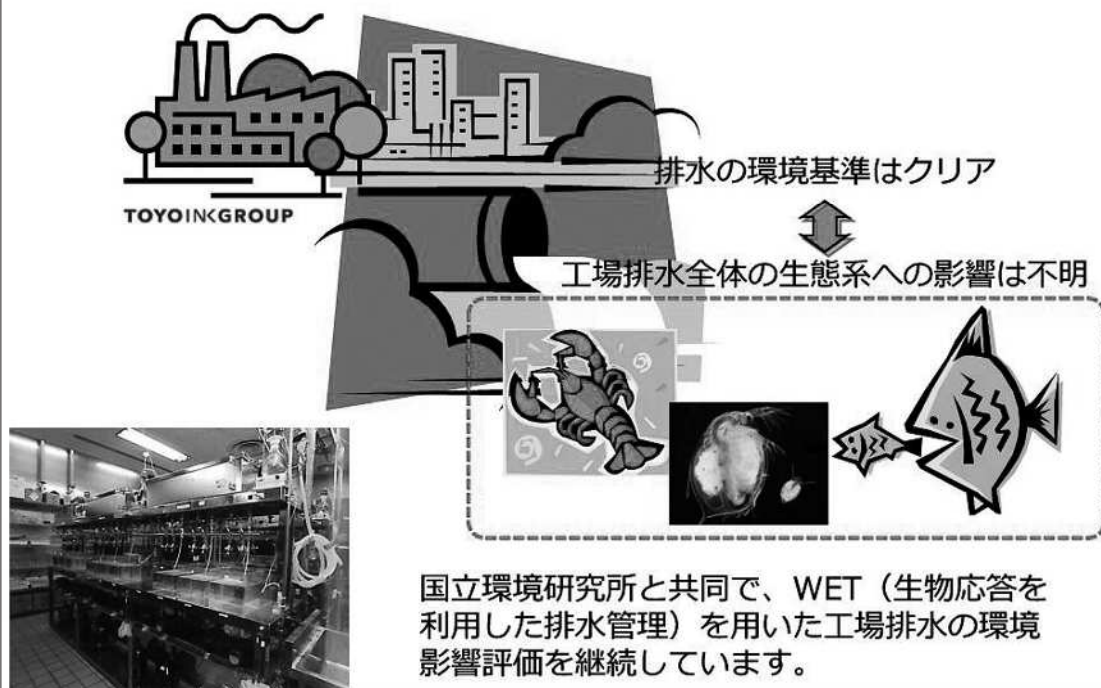
製造所・工場から排出される排水やVOCは、周辺の環境（生態系）にも影響を与える可能性があります。
周辺環境への影響を減らすには、まず、その影響を「見える化」する必要があります。

6

Copyright © 2017 TOYO INK SC HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

排水の生態系への影響（WET）

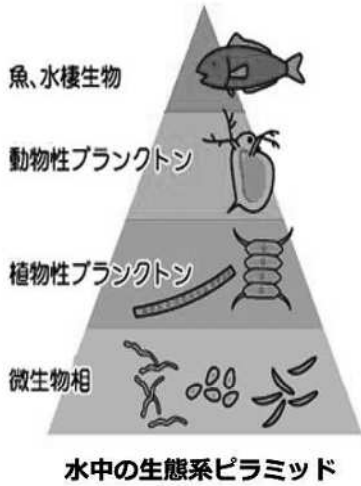
TOYOINK<SC
Visible Science for Life



6

Copyright © 2017 TOYO INK SC HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

WETで用いる生物



ゼブラフィッシュ



コセネコゼミジンコ

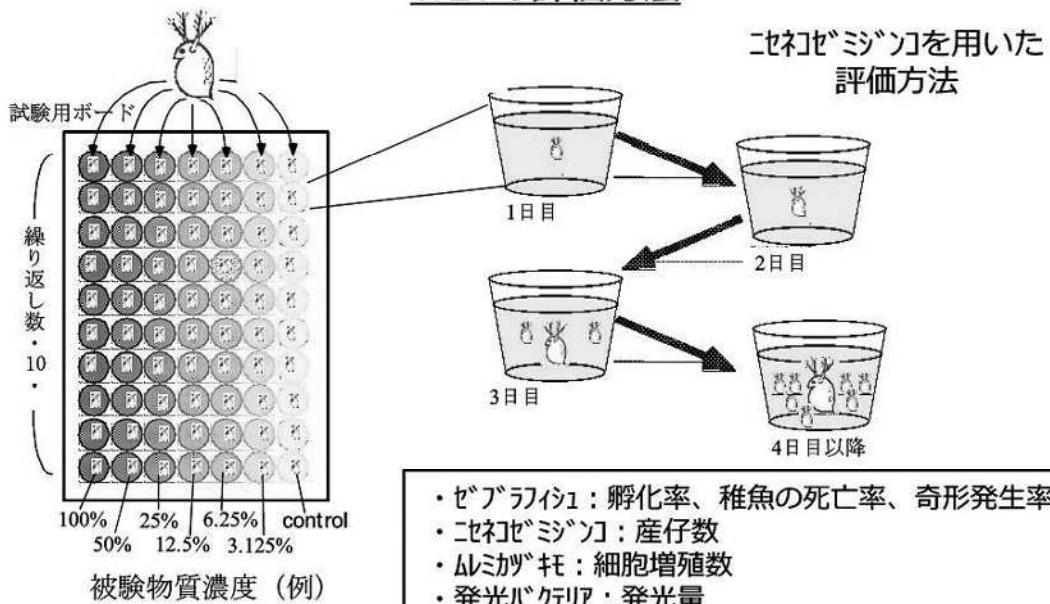


ムミカヅキ



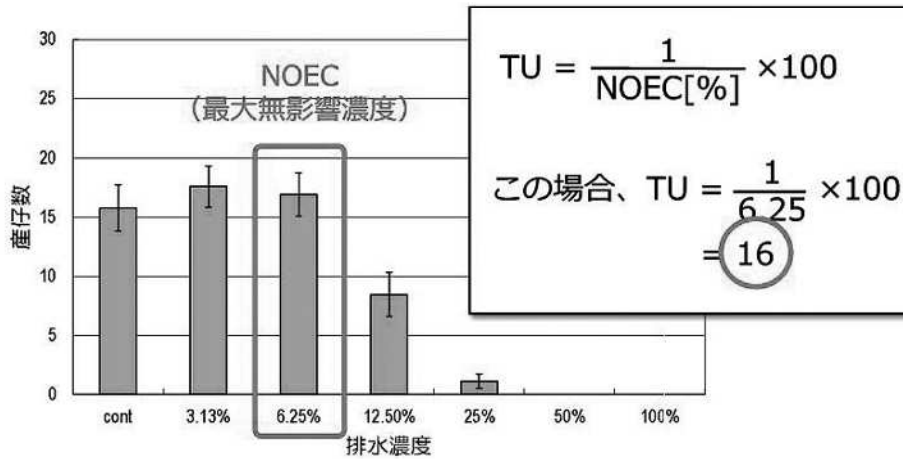
発光バクテリア

WETの評価方法

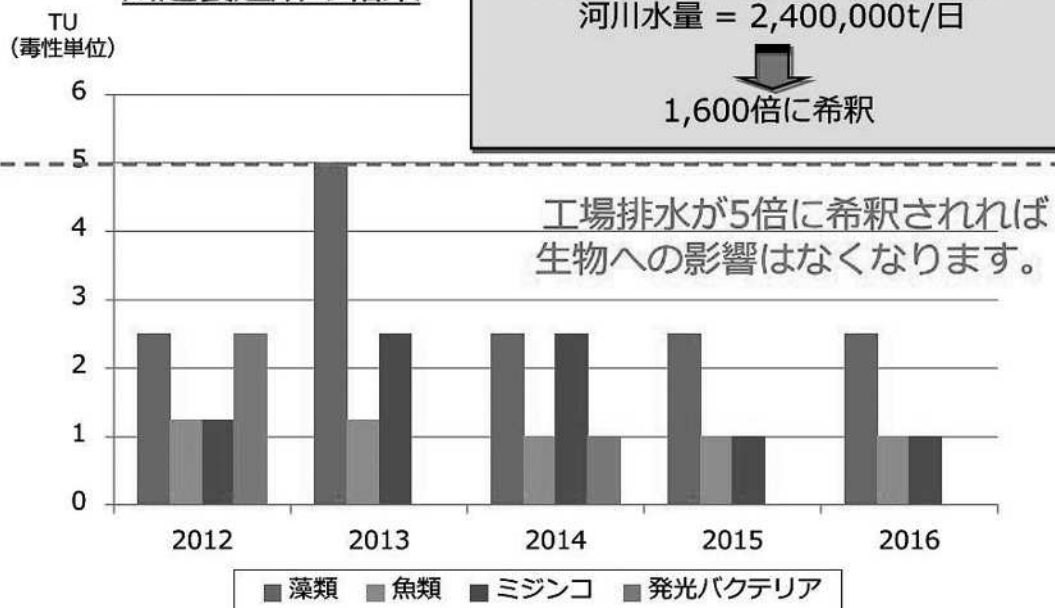


評価結果の「見える化」

TU (Toxicity Unit : 毒性単位)
供試生物への影響が認められなくなるまでに必要な希釈倍率



川越製造所の結果



隣接林での生態系調査

TOYOINK<SC
Visible Science for Life

- ・製造所・工場周辺の生態系調査を実施、継続して、事業活動の生態系への影響の評価を実施。
- ・川越製造所の社有林の調査（植物、鳥類、哺乳類）を、冬季（2016年12月～2017年1月）、初夏（2017年6月～7月）に実施。



植物調査



鳥類調査



哺乳類調査
林内に無人撮影装置
（赤外線センサーを持つ
デジタルカメラ）を設置
して1か月間撮影。



- 凡例
- 鳥類調査：定点観察地点
 - 哺乳類調査：無人撮影装置設置地点



0 100 200m

11

Copyright © 2017 TOYO INK SC HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

TOYOINK<SC
Visible Science for Life

川越製造所の位置付け

出典：川越市都市計画マスタープラン
（平成25年9月一部改訂）



将来、都市構造として自然と集落（都市）が共生する環境整備、自然環境の保全策を検討していく自然共生ゾーンに位置する。
また、福原地区は、川越市の中でも市街化区域の割合が約15%と低く、雑木林等の自然環境が保全されてきた地域で、今後も保全していくことが求められている。

12

Copyright © 2017 TOYO INK SC HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

調査結果（植物）

【特徴】

- ・川越製造所周辺には、北東から南西にかけて帯状にまとまった樹木地が見られる（「三富新田」の形状を残している）。
- ・下草刈り等の管理がされている明るい雑木林で、里山環境の代表種が生育。

【主な生育種】※114種を確認

- ・高木：クヌギ、コナラ、イヌシデ、エノキ、ヤマザクラなど
- ・亜高木：アオハダ、エゴノキなど
- ・低木：ヒサカキ、ヤマウルシなど
- ・林床：ヤマコウジ、マンリョウ、シュンラン、ツユクサなど



クヌギ



シュンラン



ツユクサ

調査結果（鳥類）

【特徴】

- ・樹林環境を好む種が、採餌や休息に利用している。
- ・川越製造所の周辺に普通に生息し、繁殖期には繁殖活動に利用されている。

【主な生育種】※14種を確認

- ・キジバト、コゲラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、シメ、ツグミ、ハクセキレイ、アオゲラ、シジュウカラ、ホオジロなど



コゲラ



アオゲラ



ホオジロ

調査結果（哺乳類）

【特徴】

- ・ ホンドタヌキは、採食や移動経路等に利用していると考えられる。
- ・ ハクビシンは、移動経路として利用していると考えられる。



ホンドタヌキ



ハクビシン

まとめ

- ・ WETによる川越製造所の工場排水の環境影響評価では、河川への放流条件を考慮すると、生態系への影響はほとんどないと判断されます。
- ・ 川越製造所の隣接林では、雑木林でよく見られる樹木が生育しており、樹木を好む鳥類も多く確認されています。
- ・ ホンドタヌキ、ハクビシンも確認され、隣接林が雑木林として様々な生物の生育・休息、繁殖の場となっていると考えられます。



今後も引き続き気候変動緩和、環境保護の取り組みを推進し、
地域や社会との共生を図ります。

環境コミュニケーションへのご参加のお願い

平成30年 2月 6日
トヨーケム株式会社
川越製造所 製造所長

いつも皆様には大変お世話になっております。
本年度も下記のように、地域の方々と当製造所で環境コミュニケーションを開催したくご案内申し上げます。
弊社の環境及び安全面の活動を知っていただき、日頃感じられている疑問や要望等と一緒に協議させて頂き、改善に結びつけていきたいと考えております。
お忙しいとは存じますが、ご出席頂けますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

開催日 : 3月 2日 (金)
13:30~16:30

開催場所: 川越製造所、事務棟会議室 (中央門からご入場下さい)

参加メンバーの方 (予定) :

- ①自治会の方
- ②周辺企業の方
- ③官公庁環境関係の方
- ④弊社関係者

実施内容:

- | | |
|----------------------------|--------|
| 1. 開会、参加者ご紹介 | 13:30~ |
| 2. 製造所長挨拶 | 13:35~ |
| 3. 川越市における環境対応 | 13:40~ |
| 4. 川越製造所の紹介 (管理部) | 13:55~ |
| 5. 製造所の環境への取り組み
(環境安全部) | 14:05~ |
| 休憩 | 14:30~ |
| 6. 工場見学 | 14:40~ |
| 休憩 | |
| 7. 意見交換・質疑応答 (アンケート記入) | 15:30~ |
| 8. 工場側挨拶、参加者側感想 (自治会、官公庁) | 15:50~ |

※お願い

駐車場のスペースの関係上、相乗りで来ていただけると幸いです。